

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

日本語日本文学科

「ライフ・デザイン」をしっかりと見据え、自主独行の理念を実現できるように次のようにカリキュラムの編成を心がけています。

- ①日本語と日本文学を根幹に日本文化を学び、研究することを第一の目的としてカリキュラムを編成する。学修成果を具現化するために卒業研究を必修とし、論理力・構成力・実証力などの能力を具体的に成果としてまとめあげる。
- ②授業科目は基本的に選択科目で構成し、それぞれの科目内容を見極め、選択する際に関連をつかみ、実効化するように助言する。結果として履修科目の選び方に整合性が生まれるように工夫する。
- ③資格科目をより強固にするための図書出版関係の授業や、社会人としてコミュニケーション力やプレゼンテーション力を高めるための科目を設定し、文化領域だけでなく、実務関連領域も充実させる。

英語英文科

まず「英語を話せるようになること」を目指します。「使える英語」の習得に向け、英語母語話者（ネイティブ）の外国人講師が担当する科目を非常に多く設定しています。

また、英語学習を通じて、「異文化への理解」を深め、日本人としてのアイデンティティを保ちつつ、グローバルな視点から幅広く柔軟に物事を見て思考する力も養っていきます。

さらに、「英語でライフデザイン」という基本理念を実現するために、英語英文科では『英語+α』と銘打って、「英語」と併せて学ぶ以下のような様々な科目を「+α」として設定しています。

- ①ビジネスマナーやキャリアサポートなど卒業後の進路を支援する科目
- ②英語系資格、実務系資格の取得に向けた科目
- ③英語を使用する場面を提供する実践・研修などの科目
- ④子どもに英語を教える技能を身につけ、認定資格を取得できる科目

ぜひ、この基本理念とその実現のためにバランスよく編成された英語英文科のカリキュラムの特長を正しく認識し、積極的に授業その他の教育活動に取り組むよう期待しています。

保育科

本学の教育理念及び保育科の教育目標に沿った人材を育成するため、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格取得に必要な科目を中心にカリキュラムを編成します。

また、意欲のある学生に対してレクリエーションインストラクター、児童厚生二級指導員等の資格を取得できる科目も開設しています。

音楽科

学習の達成目標を具現するために、次のような方針を念頭に置いて、音楽科の教育課程を編成します。

- ①専攻並びに副科の実技科目を設け、個別の徹底した指導により、各学生の特性にあった演奏解釈・表現技法・練習方法を教授し、演奏技術の向上を図る。
- ②演奏形態の1つとして、また、他人を思いやって協調性を養う総合的な人間教育の面からもアンサンブルを重視する。
- ③音楽に関する専門的な理論科目を設け、知識を教授し、技能を向上させる。科目によっては能力や特性によってクラスを分割し、各学生の特性にあった支援を行う。
- ④中学校教諭免許や音楽療法士資格取得のための課程を設ける。
- ⑤音楽教室講師として活動するために必要な知識・技能を習得する科目群を設ける。
- ⑥西洋を発祥の地とする音楽を専門に学習することから、特に外国語の習得を重視する。

更に、特別な教育活動として公開レッスンや定期演奏会、研修旅行、卒業演奏会、外部団体からの依頼によるコンサート、国際交流等の機会を設け、それらの経験を通して、学生がバランスのとれた知識と心が豊かな人間としての成長を図ります。